

The background features abstract, overlapping green geometric shapes in various shades, creating a modern and dynamic feel. The shapes are primarily triangles and polygons, some with thin white outlines, set against a light gray background.

Grand Prix East ボランティアスタッフ 運営マニュアル

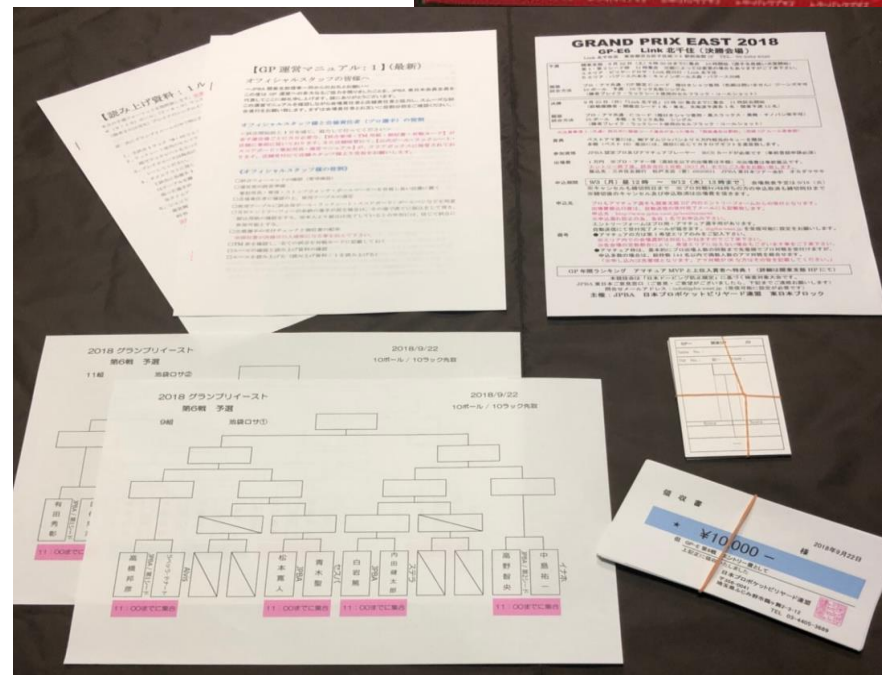
(2019年初版)

準備：はじめに

- ▶ 開催店舗様と運営責任者プロとボランティアスタッフとの役割分担を明確にする。
 - 使用する台数、運営席、観客席の確認、
 - 備品の保管場所の確認、
 - 空ける台の順番の確認など
- ▶ 運営責任者プロの方とは、試合前に運営進行に関しての打ち合わせを必ず行いましょう。

準備：郵送物の確認

- ▶ 店舗に当日必要な備品が郵便書留やレターパック等で届いています。
 - 当日の予選トーナメント表
 - 試合要項
 - 選手エントリーフィー領収書
 - その他（連絡物、予備の対戦カードなど）



準備：備品の確認①

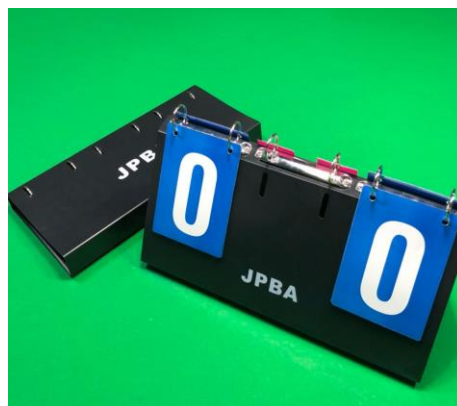
- ▶ 店舗保管の備品を確認する
 - 試合球
 - ボールポリッシャー



準備：備品の確認②

▶ 店舗保管の備品を確認する

- 運営マニュアル等の資料
- 筆記用具
- 対戦カード
- ラックシート
- ストップウォッチ
- スコアボード
- ボールマーカー



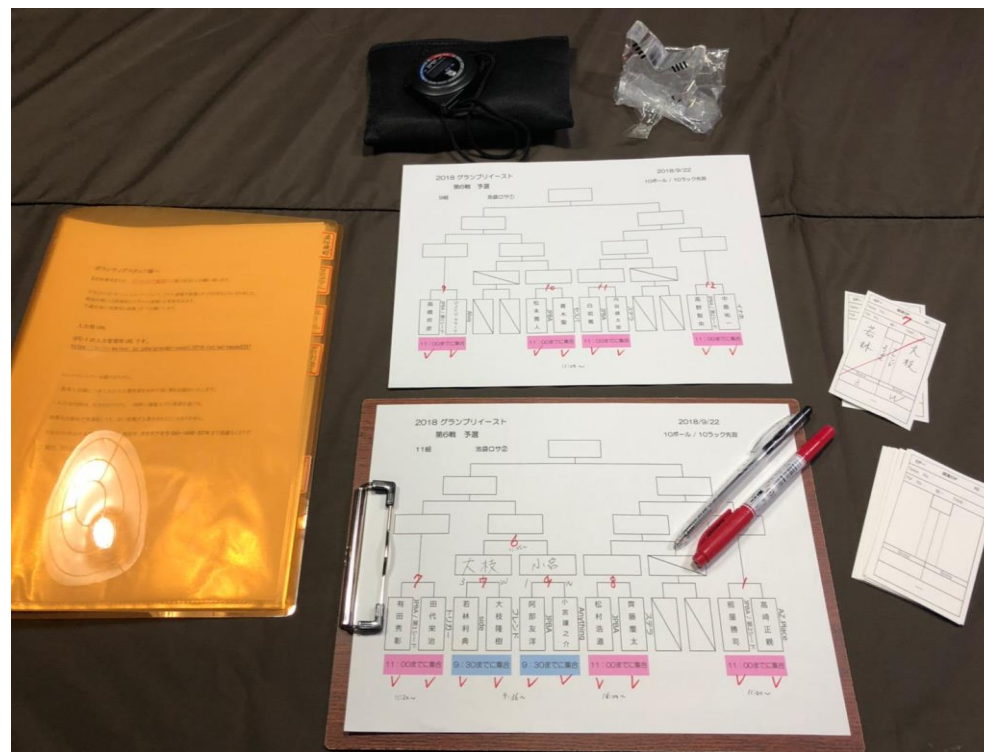
GP-	関東OP	JO
Table No. :		
TM No. :	組一	TIME :
Score		Score

準備：運営席の設営

▶ 運営に必要なものを準備する。

整理整頓に努める。

- ▶ トーナメント表
- ▶ 筆記用具
- ▶ 運営マニュアル等の資料
- ▶ 対戦カード
- ▶ ストップウォッチ
- ▶ ボールマーカー



準備：テーブルの設営

- ▶ 試合球、ラックシートをビリヤード台にセットする。
(球の袋はビリヤードテーブルのボール置きに保管する)
- ▶ スコアボード、筆記用具をテーブルにセットする。
- ▶ JPBA名義のボールだけで足りない場合は、店舗にJPBAオフィシャルボールがある場合はお借りする。

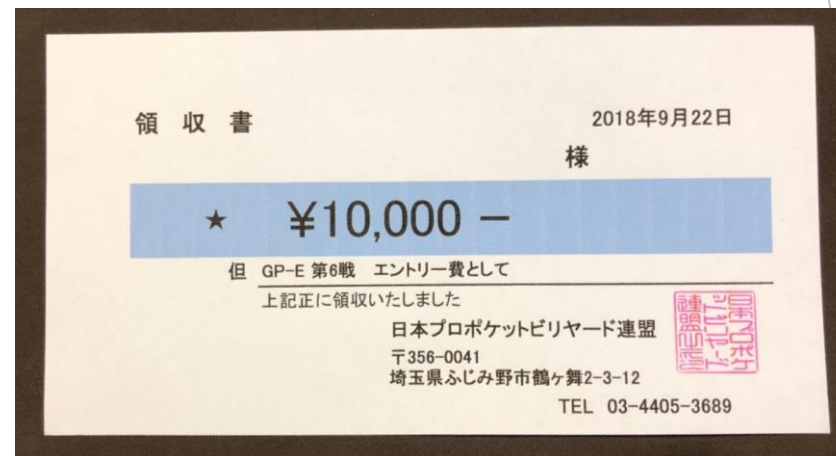


選手受付

- ▶ 選手に領収書（無記名）を手渡すことを受付とする。その際、トーナメント表などにチェックをしておく。
- ▶ エントリーフィーは事前振込、振込確認が前日までに出来ていない選手への対応。

（前日までに振込が確認出来なかった選手には、その場で速やかに振込をお願いし、そして振込完了を確認できるものを撮影し、岡田支部長にLINEなどで送信する）

※直前金曜日15時以降の振込を主張された場合などは、その旨を了承し岡田支部長にLINEなどで伝える。



試合中：対戦カードの書き方

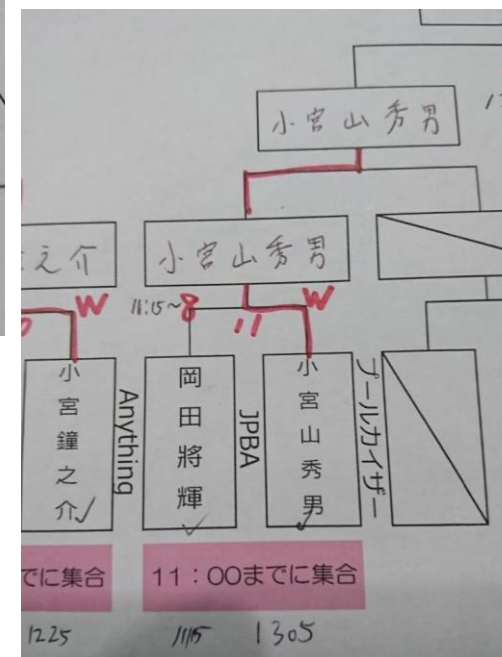
- ▶ 選手に渡す前に
 - 選手の名前、所属を記入
 - 所属の上に試合ラック数を記入
 - テーブル番号を赤ペンで記入
- ▶ 選手が戻ってきたら
 - スコアを確認
 - 勝者を明確化するために赤枠でチェックする

The image shows a match card for a table tennis match. The card is divided into several sections. At the top, it says "GP- 7 関東OP JO". Below that, "Table No. : 11" is written in red ink. The next section contains "TM No. : 組一 TIME :". The main section is divided into two columns. The left column has the name "岡田 将輝" (Okada Masahiro) and the affiliation "J.P.B.A". The right column has the name "小宮山 秀男" (Komiya Shunobu) and the affiliation "プールカイザー". The number "9" is written in a box between the two columns. At the bottom, there are two "Score" boxes. The left box has the number "8" and the right box has the letter "W". A red circle is drawn around the name "小宮山 秀男".

GP- 7 関東OP JO	
Table No. : 11	
TM No. : 組一 TIME :	
岡田 将輝 J.P.B.A	9 小宮山 秀男 プールカイザー
Score 8	Score W

試合中：トーナメント表の書き方

- ▶ 試合を呼び出す前に
 - 余白に**テーブル番号**を記入
 - 余白に**開始時間**を記入（試合開始1時間でショットクロックの要否を判断）
- ▶ 試合が終わったら
 - 次の枠に**勝者**を記入
 - 余白に**スコア**を記入
 - 余白に**終了時刻**を記入（次の試合までに1時間以上待ちが発生した場合、状況次第で20分以内の練習可）



試合中：テーブル管理

- ▶ 1回戦は提供していただいたテーブルに順次試合を入れていく。
- ▶ 2回戦は、1試合目と同テーブルに連続して入らないように注意する。
- ▶ 1試合Aテーブル⇒2試合Bテーブル⇒3試合Aテーブルは可。
- ▶ それが適わないときは、テーブルに入る両選手にその旨を伝え、台掃をし、ボールを磨き、コンディションを変えて公平さができるように努める。



試合中：ライブ速報

- ▶ 空き時間にはGPライブ速報を更新する。
- ▶ 2回戦までは試合進行に忙しいので、余裕がない場合は、勝者が対戦カードを運営席に持ってきた時にスコアを打ち込めば良い。
- ▶ 予選ベスト4と予選決勝になると、運営に余裕が出来始めるので、手が空いている時は仔細に更新していくように務める。
- ▶ 実際の打ち込み方は、紙面上での説明に限界があるので、サイトを利用したの説明に切り替える。



試合中：ショットクロック

- ▶ 9ボールは1ゲームを7分、10ボールは1ゲームを8分と計算し、1時間経過した時点で合計取得点がそれぞれ、8ゲーム、7ゲーム以下の場合は、ショットクロックを入れることができる。
- ▶ ショットクロックは、運営席に近いテーブルで、運営に余裕がある場合は運営スタッフが入ることが可能だが、少しでも不安がある場合は、JPBAのプロの方をお願いをする。
- ▶ 合計取得セットが期待値未満でも、試合がワンサイドゲームで30分以内にゲームが終わる可能性が高い時は、運営責任者のプロの方に相談のうえ、ショットクロックを入れるか入れないかの判断をする。

(運営責任者のプロが試合中の場合は他のプロに相談する)



撤収：テーブル返却

- ▶ 試合が進むに連れて、使用しないテーブルが出てくるので、その都度、店舗に返却していく。試合が始まる前の事前準備の段階で、店舗の方に相談して、どの順番で返却していくか、予選ベスト4と予選最終をどのテーブルで行うかを取り決めておくと、スムーズにテーブルを返却できる。
- ▶ テーブルが空いているのに店舗に返却していない状況は、一般のお客様に開放するためのテーブルを放置していることの裏返しなので、運営スタッフは常態として注視しておく。

撤収：備品の確認

- ▶ 試合開始前の状態に完全に戻すように務める。
- ▶ 特にJBPAから支給されている備品は、不足がないように数をかぞえ、仮に不足が出た時には運営責任者のプロの方に直ぐに伝える。
- ▶ ボール・筆記用具・ストップウォッチ・運営マニュアル・ボールマーカーに不足がでることは殆どないが、ラックシートが不足する報告は見受けられる。
- ▶ 運営スタッフはテーブルを返却するときにボールとラックシートを運営席まで運び、紛失しやすいラックシートは直ぐに袋にしまい、紛失を未然に防ぐように務める。
- ▶ ボールを袋に入れる際にも必ず1番から10番と手球の11球を確認しながらしまい、ボールポリシャーで球を拭く。



最終確認

- ▶ 撤収作業の完了をみとめたら、運営責任者のプロの方、次いで店舗責任者の方に最終確認をお願いする。
- ▶ また、運営責任者のプロの方とは当日の反省点をあらい、それが報告に値する場合は、GPのグループライン、若しくは岡田支部長へ報告して改善に努める。
- ▶ 本日はお疲れ様でした。
次戦も宜しくお願い致します。